

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒150-6019
 住 所 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
 氏 名 日油株式会社代表取締役社長 宮道建臣
 (代理人) 川崎事業所長 山内一美

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

| | | | |
|---------------------|--|--------|-------------------|
| 事業者の氏名 又は名称 | 日油株式会社 | | |
| 主たる事務所 又は事業所の所在地 | 神奈川県川崎市川崎区千鳥町3番3号 | | |
| 該当する事業者 の要 | <input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者) | | |
| 主たる事業 の業種 | 大分類 | E | 製造業 |
| | 中分類 | 16 | 化学工業 |
| 主たる事業 の内容 | 化学工業製品、食用加工油脂製品の製造 | | |
| 事業者の規模 | <input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量 | 15,102 | k l |
| | <input type="checkbox"/> 自動車の台数 | | 台 |
| | <input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量 | | t-CO ₂ |

(第2面)

| | |
|------------------------------------|---------------------------|
| 計画期間及び報告年度 | 平成28年度～平成30年度（報告年度 30年度分） |
| 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量 | 別添 指針様式第2号のとおり |
| 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況 | 別添 指針様式第2号のとおり |
| 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況 | 別添 指針様式第2号のとおり |
| その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項 | 別添 指針様式第2号のとおり |
| 備 考 | |

- 備考
- 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
 - 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
 - 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
 - 4 ※印の欄は記入しないでください。
 - 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

| | 基準年度 | 第1年度 | 第2年度 | 第3年度 | 目標排出量 |
|-----|--|--|--|--|------------------------------|
| 排出量 | (実) 28,683 (調) 28,472 t-CO ₂ | (実) 28,942 (調) 28,734 t-CO ₂ | (実) 29,732 (調) 29,516 t-CO ₂ | (実) 30,829 (調) 30,611 t-CO ₂ | (実) 30,547 t-CO ₂ |
| 削減率 | | (実) -0.9 (調) -0.9 % | (実) -3.7 (調) -3.7 % | (実) -7.5 (調) -7.5 % | (実) -6.5 % |

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

| 原単位の活動量 | 生産数量 | | 単位 | t-CO ₂ /t | |
|-----------|--------|--------|--------|----------------------|--------|
| | 基準年度 | 第1年度 | | 第2年度 | 第3年度 |
| 排出量原単位等の値 | 0.2095 | 0.2132 | 0.2138 | 0.2228 | 0.2028 |
| 削減率 | | -1.8 % | -2.1 % | -6.3 % | 3.2 % |

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

| | |
|------|--|
| 第1年度 | 事業活動における生産プロセスの見直し及川崎スチームネット株式会社から購入している省エネルギー性に優れた蒸気の有効活用等各施策を実施したが、エネルギー多消費タイプの製品群の生産増加もあり、温室効果ガス排出量は、0.9%増加しました。また、原単位(生産数量)に関しても1.8%増加しました。 |
| 第2年度 | 川崎スチームネット株式会社から購入している省エネルギー性に優れた蒸気の有効活用等各施策を実施したが、製品品質特性により、本蒸気を活用できない食品プラント製品群生産増加があり、温室効果ガス排出量は、3.7%増加しました。また、原単位(生産数量)に関しても2.1%増加しました。尚、食品プラントには、今年度より太陽光発電の設置を行っております |
| 第3年度 | 太陽光発電設備設置稼働、川崎スチームネット株式会社から購入している省エネルギー性に優れた蒸気の有効活用(蒸気駆動コンプレッサの安定稼働等)により、温室効果ガスの削減に寄与することが出来ました。一方、食品プラント製品群生産増加、顧客要望等による洗浄工程強化等の影響が大きくなり、温室効果ガス排出量は、7.5%増加しました。また、原単位(生産数量)に関しても6.3%増加しました。計画期間において、各種の温室効果ガス削減の施策を講じて、削減効果はありましたが、それ以上に生産品目構成、顧客要望対応等により、温室効果ガス排出量が増加しました。 |

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

| |
|--|
| |
|--|

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

| | | |
|---------------------------|------|---|
| | 計 画 | <ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ○生産設備のエネルギー管理 ○被加熱物、加熱用蒸気の温度及び圧力等、加熱等に係る事項の管理 ○熱利用設備に係る断熱の保守管理 ○スチームトラップの保全管理強化 ○蒸気ドレンの廃熱回収の管理 ○照明設備の運用管理 ○事業活動のプロセスにおける省エネルギー化の取り組み ○川崎スチームネット株式会社からの省エネルギー性に優れた蒸気の活用 |
| 事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等) | 第1年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ISO14001(2015年度版)への移行に伴う検討の中で、温室効果ガスに削減の項目について強化した。 ○生産設備のエネルギー管理 生産工程におけるエネルギー使用状況を解析し、生産工程プロセスの改善に取り組んだ。 ○被加熱物、加熱用蒸気の温度及び圧力等、加熱等に係る事項の管理 蒸気使用について、温度、圧力の適切な管理を行った。 ○熱利用設備に係る断熱の保守管理 日常点検および月1回の工場巡視点検を継続実施した。 ○スチームトラップの保全管理強化 スチームトラップの定期保守点検実施。 ○蒸気ドレンの廃熱回収の管理 生産工場の一部で、蒸気ドレンの廃熱の有効利用を検討した。 ○照明設備の運用管理 ランプの交換時期に節電型ランプに変更した。 ○事業活動のプロセスにおける省エネルギー化の取り組み 関係部署の生産技術交流会等で本項目を検討した。 ○川崎スチームネット株式会社からの省エネルギー性に優れた蒸気の活用 効果的に活用した。 |
| 事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等) | 第2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ISO14001(2015年度版)への移行が完了し、温室効果ガスに削減の項目について強化した。 ○生産設備のエネルギー管理 生産工程におけるエネルギー使用状況を解析し、生産工程プロセスの改善に取り組んだ。 ○被加熱物、加熱用蒸気の温度及び圧力等、加熱等に係る事項の管理 蒸気使用について、温度、圧力の適切な管理を行った。 ○熱利用設備に係る断熱の保守管理 日常点検および月1回の工場巡視点検を継続実施した。 ○スチームトラップの保全管理強化 スチームトラップの定期保守点検実施。 ○蒸気ドレンの廃熱回収の管理 蒸気ドレンの廃熱利用を検討したが、その有効性を確認できなかった。 ○照明設備の運用管理 ランプの交換時期に節電型(LED)ランプに変更した。 ○事業活動のプロセスにおける省エネルギー化の取り組み 関係部署の生産技術交流会等で本項目を検討した。 ○川崎スチームネット株式会社からの省エネルギー性に優れた蒸気の活用 効果的に活用した。 |

| | |
|-------------|--|
| <p>第3年度</p> | <p>○推進体制の整備 ISO14001(2015年度版)運用の下、温室効果ガスに削減の項目について強化した。</p> <p>○生産設備のエネルギー管理 生産工程におけるエネルギー使用状況を管理し、生産工程プロセスの改善に取り組んだ。</p> <p>○被加熱物、加熱用蒸気の温度及び圧力等、加熱等に係る事項の管理 蒸気使用について、温度、圧力の適切な管理を行った。</p> <p>○熱利用設備に係る断熱の保守管理 日常点検および月1回の工場巡視点検を継続実施した。</p> <p>○スチームトラップの保全管理強化 スチームトラップの定期保守点検実施。</p> <p>○照明設備の運用管理 ランプの交換時期に節電型(LED)ランプに変更した。</p> <p>○事業活動のプロセスにおける省エネルギー化の取り組み 関係部署の生産技術交流会等で本項目を検討した。</p> <p>○川崎スチームネット株式会社からの省エネルギー性に優れた蒸気の活用効果的に活用した。</p> |
|-------------|--|

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

再生可能エネルギー源等の利用に関する検討を継続していきます。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

| 設備等の種類 | 概要(規模、導入場所、性能等) | 導入年度 | 備考 |
|--------|--------------------------|---------|----|
| 太陽光発電 | カネカ製 薄膜型 U-ZE115 16.56kW | 2018年1月 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

| 種 類 | 概要(規模、場所等) | 保有年度 | 備考 |
|-----|------------|------|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

| | |
|------|----|
| 計 画 | 無し |
| 第1年度 | 無し |
| 第2年度 | 無し |
| 第3年度 | 無し |

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

| | |
|------|--|
| 計 画 | <p>その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項として、以下の取り組みを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の減量化、分別化を推進しています。 ○環境に配慮した運搬制度（エコ運搬制度）を推進しています。 ○モーダルシフトを推進しています。 |
| 第1年度 | <p>その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項として、以下の取り組みを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の減量化、分別化の推進を図りました。 ○環境に配慮した運搬制度（エコ運搬制度）の推進を図りました。 ○モーダルシフトの推進を図りました。 |
| 第2年度 | <p>その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項として、以下の取り組みを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の減量化、分別化の推進を図りました。 ○環境に配慮した運搬制度（エコ運搬制度）の推進を図りました。 ○モーダルシフトの推進を図りました。 |
| 第3年度 | <p>その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項として、以下の取り組みを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の減量化、分別化の推進を図りました。 ○環境に配慮した運搬制度（エコ運搬制度）の推進を図りました。 ○モーダルシフトの推進を図りました。 |

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

| | | |
|-----|--------|-------------------|
| (実) | 28,948 | t-CO ₂ |
| (調) | 28,633 | |

イ 第3号該当者等

| | | |
|-----|--|-------------------|
| (実) | | t-CO ₂ |
| (調) | | |

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算I社^レ-使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 事業所に係る 事業の名称 | 温室効果ガス の排出の量 |
|--------------|---------------|-------------------|-----------------|--------------------------|
| 日油株式会社 川崎事業所 | 川崎市川崎区千鳥町3番3号 | 1632 | 脂肪族系中間物製造業 | 28,948 t-CO ₂ |
| | | 0 | 0 | t-CO ₂ |
| | | 0 | 0 | t-CO ₂ |
| | | 0 | 0 | t-CO ₂ |

イ 年間の原油換算I社^レ-使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 事業所に係る 事業の名称 | 温室効果ガス の排出の量 |
|--------|---------|-------------------|-----------------|-------------------|
| | | 0 | 0 | t-CO ₂ |
| | | 0 | 0 | t-CO ₂ |
| | | 0 | 0 | t-CO ₂ |
| | | 0 | 0 | t-CO ₂ |

ウ 年間の原油換算I社^レ-使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

| エネルギー使用量の規模 | 事業所数 |
|--------------|------|
| 400~500kl 未満 | |
| 300~400kl 未満 | |
| 200~300kl 未満 | |
| 100~200kl 未満 | |
| 100kl 未満 | |

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はI社^レ-使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 事業所に係る 事業の名称 | 温室効果ガス の排出の量 |
|--------|---------|-------------------|-----------------|-------------------|
| | | 0 | 0 | t-CO ₂ |
| | | 0 | 0 | t-CO ₂ |
| | | 0 | 0 | t-CO ₂ |
| | | 0 | 0 | t-CO ₂ |

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はI社^レ-使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

| | |
|------|--|
| 事業所数 | |
|------|--|